

本学における学外連携教育の推進



理事(教育担当)・副学長
大学教育センター長 国見裕久

本学では、『高度なイノベーション人材の養成』を最重要戦略として掲げている。ここでいうイノベーション人材とは、未来に価値あるものを創造して力を持ち、あらゆる国籍を持った人達が協業するチームを率いることができる人と定義できる。このイノベーション人材の養成には、大学の枠を越えた多様な教育の提供が不可欠である。

こうした状況下、本学ではここ数年、①高大連携、②海外連携、③産業連携、④大学間連携といった学外との連携による教育に力を入れてきた。

まず、①高大連携については、18歳人口の減少が顕著になる「2018年問題」を目の前に、本学としてどのように対応していくべきかを検討した。本学としては、単なる志願者確保としてではなく、当事者となる高校生、ステークホルダーである高校教員、保護者を含めた本質的な支援をしていくための方策を検討し、「高大連携教室」をはじめとし、キャンパスツアー等、多様な取り組みを行っている。特に高校教員と密接にかかわり推進していく地道な活動は、ぜひ、他大学にも広く知っていただきたい。

②海外連携については、カルフォルニア大学 DAVIS 校およびボゴール農科大学とのダブルディグリー協定の締結等、本学学位の授与と同時に海外大学の学位を授与する方策を講じている。さらに、新たな教育プロジェクトとして、今年度は、ハワイ大学マノア校との連携により、気候変動をテーマにした協同ワークショップを実施した。今、広くその重要性が叫ばれている PBL(Project Based Learning)の概念に基づき実現した協同ワークショップは、「海外協同教育プロジェクト」としては、本学にとって初の試みであった。

③産業連携に関していえば、特に、「未来に価値あるものを創造していく力」を育成していく上で、最前線機関との連携が欠かせない。本学では、世界のイノベーション推進機関との連携、さらには日本の企業等との連携により、最前線のイノベーション教育が提供できている。

最後に、④大学間連携についてであるが、本学では多数の大学と連携している。その一つとして、多摩地区国立5大学(東京外国語大学、東京学芸大学、東京農工大学、一橋大学、電気通信大学)で、相互の交流と教育課程の充実を図ること目的として単位互換制度を行っている。さらに地域連携を発展させるために、今年度から、本学と東京外国語大学および電気通信大学の3大学間で教育連携協定を締結し、共通教育の共同化、専門教育モジュールの設置、文理融合の新たな大学院の設置に向けた議論を開始した。

こうした学外との連携教育は、本学では、イノベーション人材を育成していく上で極めて重要なアクティビティとして位置付けている。学外と広く連携し、協同し、教育を展開するということは、学生たちに、今後、社会で活躍していく上で必要な幅広い知見や将来につながる経験の場を提供していることになると考えるからである。こうした場での多くの経験は、これからの時代を担う学生たちにとって大きな財産となるはずである。

今後の大学教育においては、こうした教育を受けた学生たちを多様な社会へと送り出し、活躍の幅を広げていくことが、我々の使命ではないかと考えている。

目 次

○ 巻頭言 國見 裕久：理事（教育担当）・副学長／大学教育センター長

○ 特集 「学外との連携」

<報告>

- ・ 「東京農工大学の高大連携と高大接続」
藤井恒人（大学教育センター）..... 1
- ・ 「「語学力の壁を超える場」の構築 -学習効果最大化への海外・国内研修の接続-」
岩田陽子，村山眞理（大学教育センター）..... 11
- ・ 「イノベーションを牽引するリーダー育成プログラム」
千葉一裕（副学長，イノベーション推進機構長）..... 15

<研究論文>

- ・ 「大学間連携による学生の学び -三大学協働基礎ゼミアンケート分析-」
市川桂（大学教育センター）..... 21

○ 報告

- ・ 「大学院 BASE のアクティブラーニング：実践発表 I（プレゼンテーション技術の修得）」
中田宗隆（大学院 BASE 生物機能システム科学専攻）..... 29
- ・ 「理工系グローバル人材に求められるパブリックエンゲージメントスキル育成への試み」
安村友紀（大学教育センター）..... 35
- ・ 「本学新入生における体力・運動能力の過去 10 年間の推移」
下田政博・植竹照雄（農学研究院自然環境保全学部門）
岩見雅人・田中秀幸・田中幸夫（工学研究院先端健康科学部門）..... 45
- ・ 「特別修学支援室の取り組み -平成 27 年度活動報告を中心に-」
馬渕麻由子・佐藤友久（大学教育センター）..... 53

○研究論文

- ・ 「学生生活実態調査と健康白書 2015 学生生活アンケートについての検討」
原田賢治・江上美奈子（保健管理センター）
馬淵麻由子（大学教育センター）..... 59
- ・ 「トランス・サイエンスへの思考構築プロセスの分析」
岩田陽子（大学教育センター）..... 69
- ・ 「The Development of Critical Thinking Skills through Discussion」
Stephen Hurling（Lecturer of English）..... 77

- センター活動報告..... 91

- センター専任教員活動報告..... 101

- センター運営委員会議題..... 113

- 編集方針・投稿規程・教育データの取り扱いに関する指針..... 123